

# 令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 滋賀県共同募金会



# 目 次

I	令和元年度共同募金運動の総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	令和元年度事業の重点事項について・・・・・・・・	3
III	共同募金会の運営・・・・・・・・・・・・・・・・	5
IV	募金・広報活動について・・・・・・・・	8
V	災害たすけあいの実施・・・・・・・・	9
VI	中央および近畿ブロックの会議等への参加について・・・・・・・・	10
VII	顕彰の実施・・・・・・・・	11
VIII	民間助成事業の推薦・・・・・・・・	11
IX	その他・・・・・・・・	11

## I. 令和元年度共同募金運動の総括

### 1. 目標額の設定

令和元年度（第73回）の目標額について、A募金目標額として決定されている広域助成金および各市町共同募金委員会が地域の福祉事業に充当しようとする地域助成金ならびに歳末たすけあい助成金の総額を取りまとめ、次のとおり設定した。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| (1) 一般募金目標額      | 153,368,000 円 |
| (2) 歳末たすけあい募金目標額 | 80,032,000 円  |
| (3) 目標総額         | 233,400,000 円 |

### 2. 共同募金運動の実施

10月1日に、キックオフイベントとして大津駅前において、滋賀県副知事、滋賀県議会議員、社会福祉関係団体役員、募金ボランティア、行政関係者等の参加協力を得て一斉街頭募金を実施した。

また、各市町共同募金委員会においても、県下各地にて募金ボランティアや福祉団体等の協力のもと街頭募金活動を行った。

### 3. 募金実績額

通常期間（令和元年10月1日から12月31日まで）および拡大期間（令和2年1月1日から3月31日まで）を通じた本年度の募金実績額は、次のとおりであった。

種 別	募 金 額	対前年度比
一般募金	140,040,346 円	△707,101 円 (100.5%)
地域歳末	66,127,593 円	△1,125,535 円 (98.3%)
NHK歳末	4,819,002 円	△334,556 円 (93.5%)
歳末たすけあい募金	70,946,595 円	△1,460,091 円 (98.0%)
通常期間募金実績 小計	210,986,941 円	△ 752,990 円 (98.0%)
使途選択型募金	2,924,351 円	△ 1,298,846 円 (69.2%)
テーマ型募金	3,640,095 円	△355,991 円 (91.1%)
拡大期間募金実績 小計	8,219,283 円	△ 902,777 円 (90.1%)
募金実績額 合計	217,551,387 円	△ 2,407,827 円 (98.9%)

#### 4. 令和元年度赤い羽根共同募金の執行計画

通常期間の共同募金実績額の確定を受けて、3月に次のとおり助成決定額をはじめとした執行計画を決定した。

なお、拡大期間における募金については、3月末までが運動期間であり、4月以降に助成することになる。

種 別		令和元年度執行計画額
	広域助成金	23,986,000 円
	災害等準備金	6,500,000 円
	募金活動推進費	37,000,000 円
	広域事業費 小計	67,486,000 円
	地域助成金	63,195,080 円
	市町募金活動推進費	9,845,266 円
	地域事業費 小計	73,040,346 円
	一般募金 合計 ※1	140,526,346 円
	地域歳末たすけあい助成金	64,231,333 円
	NHK歳末たすけあい助成金 ※2	4,656,000 円
	募金活動推進費	2,159,262 円
	歳末たすけあい事業費 合計	71,046,595 円
	共同募金 総計	211,572,941 円

(注) ※1. 一般募金の執行計画額には、平成30年度繰越分486,000円を含む。

※2. NHK歳末たすけあい助成金の執行計画額には、平成30年度繰越分100,000円を含む。

併せて、災害準備金取崩額による下記の助成事業の執行計画を決定した。

平成26年度災害支援準備金 取崩残額 644,000 円

平成27年度災害支援準備金 取崩額 1,340,000 円

平成27年度災害支援準備金 返還額 3,022,853 円

(合計 5,006,853 円)

種 別		令和元年度執行計画額
	防災活動支援事業	5,004,000 円
	募金活動推進費	2,853 円
	防災活動支援事業 合計	5,006,853 円

## II. 令和元年度事業の重点事項

### 1. 寄付者の理解と共感が得られる共同募金への取り組みについて

#### (1) 広域助成事業の「見える化」を柱とした共同募金運動の活性化について

本会が実施する広域助成事業について、申請募集を4月から開始し、8月に助成事業を決定、9月に「助成決定通知書交付式」を関係者の参加を得て開催した。

これにより、10月からの共同募金において、寄付者に理解と共感が得られるよう、具体的な使いみちを訴えながら、広く募金の協力をお願いした。

#### ① 寄付者に理解と共感を呼ぶ新たな福祉課題の掘り起こし

社会福祉協議会やNPOの中間支援組織等と連携を図りながら、新たな福祉課題を助成事業へと結びつけるための取り組みを進めていくこととした。

#### ② 募金活動協力者の拡大

12月1日開催のNHK歳末たすけあいの街頭啓発にボーイスカウトの小学生および中学生に参加いただいた。

#### (2) 地域における「見える化」推進について

昨年度に引き続き「赤い羽根運動推進チャレンジ事業」として、市町共同募金委員会における使いみちの見える化の推進や地域住民をはじめとした多様な方々の参画を促すための新たな助成事業の展開などの取り組みに対する支援として、次の4事業への助成を決定した。

##### ・大津市共同募金委員会

助成を通じ共同募金委員会がボランティアグループ、NPO等と地域の活動を共に  
行う仕組みづくり

##### ・守山市共同募金委員会

ボランティアグループ、NPO、福祉団体等が実施する福祉活動を、テーマ設定型  
および自由提案型事業に区分して助成

##### ・甲賀市共同募金委員会

寄付者層の拡大のため、現役世代の抱える課題や関心に沿った助成事業を新しい手  
法を用いながら実施

##### ・米原市共同募金委員会

地域住民の交流の場を活用した共同募金の使いみちをテーマとする住民参加の仕  
組みづくり

#### (3) 運動期間の拡大に伴うテーマ型募金等の有効活用について

新たな募金手法を推進する期間として、従来の運動期間から拡大された1月から3月の期間を活用し、より一層寄付者の共感と参加性を高める用途選択型およびテーマ型募金を実施した。

### ①「使途選択型募金」の実施

昨年度に引き続き、福祉団体（エントリー認定団体）の課題解決のための取り組みに対し、寄付者が使いみちを選択できる使途選択型募金「つかいみちを選べる募金」を本会事業として実施した。

実績額 2,924,351円（9団体）

### ②テーマ型募金の実施

募金の使いみちを前面に掲げる取り組みは、募金増額とともに、共同募金の原点を追体験し、再認識するうえでも重要で効果的との観点から、次の市町共同募金委員会におけるテーマ型募金の実施を支援した。

実績額 3,640,095円

- ・大津市共同募金委員会 「子どもの居場所づくり」
- ・近江八幡市共同募金委員会 「くらし支えあい応援募金」  
「子どもの居場所応援募金」
- ・守山市共同募金委員会 「子どもの育ち応援募金」
- ・高島市共同募金委員会 「赤い羽根たかしま見守り募金」
- ・東近江市共同募金委員会 「見守り活動支援募金」  
「子どもを事故から守る募金」

### (4) 新たな募金手法の開発・活用について

彦根市共同募金委員会における「ひこにゃん」とコラボレーションした募金バッジを用いた新たな協力先の開拓を柱とした募金運動の展開に支援を行った。また、甲賀市共同募金委員会においても地元の作業所において陶器製の募金バッジを作成し、募金運動に活用するなどした。

なお、寄付つき自動販売機は東近江市などで新たに設置が実施されるなど、県内全体で順調に台数を伸ばしている。

### (5) 寄付者に伝わる広報の展開について

「募金のゆくえとけいかく」を含めた広報活動の見直しのため、市町共同募金委員会職員とともに担当者連絡会において現状分析や意見交換を行った。

「募金のゆくえとけいかく」については、より地域住民の方々につかいみちを訴えるべく、表紙のを各市町共同募金委員会ごとにデザインできるように改善を図った。

また、助成物品への明示について、物品への明示とともに広報誌やホームページにおいても積極的に掲載し、広く周知していただくように、引き続き各助成団体に依頼した。

## 2. 本会組織体制の整備や業務運営の適正化について

### (1) 役員研修会の開催

役員等の改選に伴う新たな本会役員・各委員会委員・各市町共同募金委員会役員を対象とした役員研修会を7月19日に開催した。

## (2) 適正な会計処理の確保

会計ソフトを活用した経理処理の統一化を図るために、市町共同募金委員会の会計担当者に対し会計基礎研修および令和元年度決算処理時に向けた会計研修会を開催するなどして、会計の適正な処理に努めた。

## (3) 寄付金取扱業務の管理適正化

平成31年3月28日に公表された近江八幡市社会福祉協議会における共同募金等の不明金事案を受けて、寄付金の取扱について、領収書の通し番号による管理を実施するとともに、寄付金の金融機関口座への振込について促進を図るなどして、適正な管理に努めた。

なお、この赤い羽根共同募金に関する不明金については、近江八幡市社会福祉協議会より令和元年9月2日に本会へ既に送金（一般募金456,760円、歳末たすけあい287,310円）がされており、それぞれ令和元年度の実績額として計上した。

## (4) 『赤い羽根共同募金 運動再生プロジェクト』への取組み

「赤い羽根運動推進チャレンジ事業」、「テーマ型募金」の導入拡大および広報活動の見直しに取り組むとともに、運動の再生に向けた新たな募金手法の導入など、市町共同募金委員会が行う新たな取組みに対して運営面から支援を実施することとした。

本年度においては、彦根市共同募金委員会の「ひこにゃん」募金バッジの新たな展開に対する運営面での支援や、各市町共同募金委員会の実施する募金改革会議等への本会職員の参画に努めた。

# Ⅲ. 共同募金会の運営

## 1. 定款および諸規程に基づく理事会、評議員会等の開催

### (1) 理事会

#### 第1回（令和元年5月22日）

- ・平成30年度事業報告（案）について
- ・平成30年度会計決算報告（案）について
- ・滋賀県共同募金会役員候補者の選任（案）について
- ・滋賀県共同募金会新評議員候補者の選任（案）について
- ・令和元年度第1回評議員会の招集事項について

#### 第2回（令和元年6月12日）

- ・滋賀県共同募金会会長、副会長および常務理事の選任について
- ・新理事候補者の選任（案）について
- ・配分委員会委員の選任（案）について
- ・助成事業等調査指導委員会委員の選任（案）について
- ・新評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
- ・令和元年度第2回評議員会の招集事項について

第3回（令和元年7月10日）

- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について

第4回（令和元年11月11日）

- ・令和元年度 NHK歳末たすけあい助成事業の助成（案）について
- ・令和元年度 防災活動支援事業の助成（案）について
- ・令和元年度 第4回評議員会の招集事項について

第5回（令和元年11月11日）

- ・令和元年度 NHK歳末たすけあい助成事業の助成（案）について
- ・令和元年度 防災活動支援事業の助成（案）について
- ・令和元年度 第4回評議員会の招集事項について

第6回（令和2年3月19日）

- ・赤い羽根共同募金 令和元年度執行計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度事業計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度予算（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度A募金目標額（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度に広域で行う助成事業の募集について
- ・広域助成事業検討委員会 設置要綱（案）について
- ・給与規程の改正（案）について
- ・令和元年度 第5回評議員会の招集事項等（案）について

(2) 評議員会

第1回（令和元年6月12日）

- ・平成30年度事業報告（案）について
- ・平成30年度会計決算報告（案）について
- ・滋賀県共同募金会役員候補者の選任（案）について

第2回（令和元年6月20日）

- ・新理事候補者の選任（案）について
- ・配分委員会委員の選任（案）について
- ・助成事業等調査指導委員会委員の選任（案）について



### 第3回（令和元年8月27日）

- ・令和元年度 広域助成事業の助成（案）について
- ・令和元年度 共同募金の目標額（案）および助成予定額（案）について
- ・令和元年度 NHK歳末たすけあい助成事業 取扱要領（案）について
- ・令和元年度 「つかいみちを選べる募金」実施要綱（案）について
- ・令和元年度 防災活動支援事業 取扱要領（案）について
- ・新配分委員会委員の選任（案）について
- ・新助成事業等調査指導委員会委員の選任（案）について

### 第4回（令和元年11月20日）

- ・令和元年度 NHK歳末たすけあい助成事業の助成（案）について
- ・令和元年度 防災活動支援事業の助成（案）について

### 第5回（令和2年3月27日）

- ・赤い羽根共同募金 令和元年度執行計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度事業計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度予算（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度A募金目標額（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度に広域で行う助成事業の募集について
- ・広域助成事業検討委員会 設置要綱（案）について
- ・給与規程の改正（案）について

## （3）監事会

### 第1回（令和元年5月14日）

- ・平成30年度事業報告について
- ・平成30年度収支決算について

## （4）配分委員会

### 第1回（令和元年6月26日）

- ・令和元年度広域助成事業等の申請状況と調査対象先について
- ・「公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成金」の申請状況について
- ・今後の現地調査スケジュールについて

### 第2回（令和元年7月29日）

- ・令和元年度広域助成事業等の助成（案）について
- ・令和元年度 共同募金の目標額（案）および助成予定額（案）について
- ・令和元年度 NHK歳末たすけあい助成事業 取扱要領（案）について
- ・令和元年度 防災活動支援事業 取扱要領（案）について
- ・令和元年度 「つかいみちを選べる募金」実施要綱（案）について

第3回（令和元年10月29日）

- ・令和元年度 NHK歳末たすけあい助成事業の助成（案）について
- ・令和元年度 防災活動支援事業の助成（案）について
- ・令和元年度 「つかいみちを選べる募金」 エントリー団体の認定（案）について

第4回（令和2年2月27日）

- ・赤い羽根共同募金 令和元年度執行計画（案）について
- ・赤い羽根共同募金 令和2年度に広域で行う助成事業について

現地調査 5日間（令和元年7月11日、12日、16日、17日、23日）

（5）助成事業等調査指導委員会

第1回（令和元年11月6日）

- ・共同募金等の助成金による助成事業の調査指導について

第2回（令和2年1月24日）

- ・助成事業等調査指導の結果について
- ・令和元年度助成事業等調査指導の総括について

調査指導 5日間（令和元年11月25日、26日、27日、28日、12月5日）

（6）評議員選任・解任委員会

第1回（令和元年5月29日）

- ・社会福祉法人滋賀県共同募金 新評議員の選任（案）について

第2回（令和元年8月19日）

- ・滋賀県共同募金会 評議員選任・解任委員会 委員長の選出について
- ・社会福祉法人滋賀県共同募金 新評議員の選任（案）について

2. 市町共同募金委員会関係会議・研修会の開催

- ・市町共同募金委員会新任職員基礎研修会（令和元年7月2日）
- ・市町共同募金委員会事務局長会議（第1回）（令和元年7月5日）
- ・市町共同募金委員会担当者連絡会（令和2年1月28日）
- ・市町共同募金委員会 会計研修会（令和2年1月28日）
- ・市町共同募金委員会事務局長会議（第2回）（令和2年2月14日）

## IV. 募金・広報活動について

### 1. ホームページ等による情報提供

本会の開設するホームページ掲載記事の随時更新に努めた。また、赤い羽根データベース「はねっと」へ募金実績額や助成結果等のデータ入力を行い、「はねっと」を通じて、中央共同募金会ホームページとも連動した情報提供により、助成の透明性の確保に努めた。

### 2. 広報資料の作成・配布

共同募金運動広報紙「ゆくえとけいかく」

各戸、企業、団体等に配布（作成枚数480,800枚）

### 3. 運動資材の作成・配布

(1) 赤い羽根

(2) 募金バッジ

(3) ポスター

(4) パンフレット

(5) 募金袋、協力依頼状等

### 4. 募金箱等の設置

滋賀県厚生会館玄関に募金箱を設置した。併せて、共同募金のキャラクター看板を作成し、通常期間中、事務所の道路に面した窓に掲示し運動期間のPRを行った。

### 5. 県内巡回訪問

共同募金運動の開始に伴い、県内19市町共同募金委員会へ巡回訪問を行い、積極的な共同募金運動の実施を依頼した。

### 6. テレビ・ラジオ放送

県内のテレビ・ラジオ放送局の協力を得て、共同募金に対する協力依頼、協力に対する御礼のスポット放映（放送）をするとともに、共同募金の使途をPRするビデオの放映を実施した。

## V. 災害たすけあいの実施

### 1. 義援金

#### (1) 全国（県外）の災害に対する義援金の募集

災害救助法が適用された全国の災害に関し、中央共同募金会と連携して次のとおり義援金の募集を実施した。

(総額 6,066,828 円)

- ①平成28年熊本地震義援金 (10,661円)  
(平成28年4月15日から)
- ②平成30年7月豪雨災害義援金 (787,746円)  
(中央共募および岡山県、広島県など3府県)  
(平成30年7月10日から)
- ③平成30年北海道胆振東部地震災害義援金 (5,293円)  
(平成30年9月13日から)
- ④令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金 (112,206円)  
(令和元年9月2日から令和2年2月28日まで)
- ⑤京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金 (22,700円)  
(令和元年9月9日から令和元年10月31日まで)
- ⑥令和元年台風第19号災害義援金 (5,128,222円)  
(中央共募および千葉県、長野県など11府県)  
(令和元年10月16日から)

## 2. 災害見舞金

県内において台風や火災等により被害を受けた家庭に対し、次のとおり見舞金を交付した。

見舞金総額 760,000円 (38件)

## VI. 中央および近畿ブロックの会議等への参加について

### 1. 中央共同募基金会主催の会議・研修会

- (1) 中央共同募基金会都道府県共同募基金会職員研修会 (平成31年4月22・23日)
- (2) 中央共同募基金会都道府県共同募基金会職員自主学習会 (平成31年4月23・24日)
- (3) 第189回評議員会 (令和元年6月24日)
- (4) 都道府県共同募基金会 常務理事・事務局長会議 (令和元年7月9・10日)
- (5) 「共同募基金会職員の人材養成に関する検討会」準備会 (令和元年11月14日)
- (6) 第1回「共同募基金会職員の人材養成に関する検討会」 (令和2年1月8・9日)
- (7) 第2回「共同募基金会職員の人材養成に関する検討会」 (令和2年3月2日)
- (8) 第190回 評議員会 (令和2年3月14日)

### 2. 近畿府県共同募基金会ブロック会議・研修会

- (1) 近畿府県共同募基金会常務理事・事務局長会議 (令和元年9月11日)
- (2) 近畿府県共同募基金会職員研修会 (令和元年9月11日)

## Ⅶ. 顕彰の実施

令和元年度赤い羽根共同募金運動の協力者に対し、下記のとおり顕彰した。

### (1) 滋賀県共同募金会会長表彰

①優良奉仕功労者 12名

(共同募金運動に10年以上に亘り奉仕・協力しその活動が他の模範となる個人)

②優良奉仕団体 6団体

(自主的に街頭募金等の活動を行い、5年以上に亘り毎年協力のあった団体、または、市町共同募金委員会の協力要請を受け、7年以上に亘り街頭募金等の活動に毎年参加協力している団体)

### (2) 滋賀県共同募金会会長感謝

①高額寄付者 22名・法人・団体

(前年度の共同募金(歳末たすけあいを含む)に、10万円以上の寄付があり、感謝に値する個人および法人・団体)

③ 継続寄付者 33名・法人・団体

(単年度の寄付額が基準に達しないものであっても、継続的に協力があり、市町共同募金委員会会長が感謝に値すると判断したもの)

## Ⅷ. 民間助成事業の推薦

中央競馬馬主社会福祉財団の助成金について受配者の推薦等の業務を行った。

7法人・施設 助成金額 5,770,000円

## Ⅸ. その他

1. 近畿府県共同募金会共催事業として募金バッジのデザイン募集を行い、平成30年5月11日に開催した選考委員会においてデザイン優秀作品を決定し、募金バッジを作成、配布した。

デザイン募集応募点数 : 125点

本会購入配布数 : 10,577個

2. 滋賀県、滋賀県議会、滋賀県社会福祉協議会等とともに、令和2年1月29日に岡山県のハンセン病国立療養所(奥光明園、長嶋愛生園)に入所する滋賀県出身者を訪問、激励した。